

# ICT夢コンテスト2019 実践事例募集のお知らせ

ICTを活用した教育の実践事例を募集します。ぜひ、ご応募ください。

## ICT夢コンテスト実施の趣旨

子どもたちが高度に発達した情報化社会を生き抜いていくためには、さまざまな知識の習得に加えて、情報活用能力をはじめとする汎用的な資質・能力を身につける必要があります。教育における情報通信技術（ICT）の活用は、これを実現させるためのひとつの有力な手段として大きな期待が持たれています。

本コンテストは、教育におけるICT活用を奨励するとともに、ICT活用の優良事例を収集して広く公開することにより、全国的にICTを有効に活用した教育活動が実践されるようになることを目的としています。

下記のように、ICTを有効に活用した教育の実践事例を募集します。

## 応募対象およびテーマ例（実践領域）

- ・学校の教職員等（ICT支援員などの外部職員を含む）
  - ICTを活用した効果的な授業
  - 児童生徒の情報活用能力育成
  - ICT活用に関する校内教員研修
  - 校務支援システムを活用した児童生徒指導
  - ICTを活用した保護者や地域への情報発信
  - 学校運営・管理へのICT活用
  - ICTを活用した授業を行う教員に対する支援活動 など
- ・教育委員会・教育センター等
  - ICT活用指導力等についての教員研修
  - 学校でのICT活用推進活動などの実践事例 など
- ・保護者、地域のボランティア、大学、企業、NPO法人等
  - 学校の授業や行事に対するICTを活用した支援活動
  - 地域未来塾などICTを活用して地域で子どもたちの教育を行う活動 など

## 募集期間

2019年6月1日（土）～9月20日（金）

## 応募方法（2019年度）

- ・応募用紙（A4サイズ×3枚）の提出
  - 表紙（応募者情報）1枚＋実践事例内容2枚
- ・応募用紙のダウンロードは <https://www.japet.or.jp/event/yume/>
- ・応募先：ICT夢コンテスト事務局 [yume-oubo@japet.or.jp](mailto:yume-oubo@japet.or.jp)  
詳細は、下記「ICT夢コンテスト」のホームページをご参照ください。  
<https://www.japet.or.jp/event/yume/>

## 評価のポイント

- (1) ICTを効果的に活用しているか（目的・場面・効果）
- (2) 先進性があるか（先進的・独創的・新奇性）  
または普及性があるか（工夫・波及性・汎用性）
- (3) 絆が深まったか（連携・協働・共感など）

## 募集条件

- (1) 応募事例の中の著作権者や著作隣接権者などの許諾はクリアしていること。  
これらの許諾を得ずに複製された写真・画像・文字等を使用し、著作権侵害や著作隣接権侵害、また、肖像権の侵害などの問題が発生した場合は、主催者は一切責任を負わない。ICT活用実践事例集に掲載する原稿についても同様である。
- (2) 応募事例は募集締切の2019年9月20日（金）までに実施したものが対象です。この時点以降に実施するものは対象外となります。
- (3) 過去に本コンテストまたは類似のコンテストの受賞歴がある事例は対象外です。
- (4) 受賞内定者は本コンテスト公式サイトに掲載されるが、受賞内定をもって営利目的に属する通知や広告などに利用することは認められない。このようなことが判明した場合には、受賞内定の取り消しもありえる。
- (5) 応募にかかる費用は応募者の負担である。
- (6) 受賞者は2019年度教育の情報化推進フォーラムにおいて表彰し、その内容発表を行っていただきます。また、ICT活用実践事例集への論文執筆も行っていただきます。
- (7) 事例の著作権は応募者にあるが、作品の使用権等は主催者の帰属とする。

※複数の実践事例を応募することも可能です。ただし、入賞は一人一事例までとさせていただきます。

## 表彰

文部科学大臣賞（学校／地域）、総務大臣賞、NHK賞、日本教育新聞社賞  
日本教育情報化振興会賞、宮島龍興記念教育賞、地方再生・創生賞  
（上記の受賞とともに10万円相当のICT機器が副賞として贈られます）  
その他  
ICT夢コンテスト優良賞、ICT夢コンテスト新人賞

## 表彰式

- ・2019年度 教育の情報化推進フォーラム会場にて開催
- ・上記フォーラムにて実践事例発表（及び原稿を執筆し、ICT活用実践事例集に掲載）
- ・賞状及び副賞を授与